

Title	小売業におけるソフトウェア資産の有効活用に関する研究
Sub Title	
Author	小野寺, 裕貴(Onodera, Yuki) 村上, 裕太郎(Murakami, Yutaro)
Publisher	慶應義塾大学大学院経営管理研究科
Publication year	2016
Jtitle	
JaLC DOI	
Abstract	
Notes	修士学位論文. 2016年度経営学 第3144号
Genre	Thesis or Dissertation
URL	https://koara.lib.keio.ac.jp/xoonips/modules/xoonips/detail.php?koara_id=KO40003001-00002016-3144

慶應義塾大学学術情報リポジトリ(KOARA)に掲載されているコンテンツの著作権は、それぞれの著作者、学会または出版社/発行者に帰属し、その権利は著作権法によって保護されています。引用にあたっては、著作権法を遵守してご利用ください。

The copyrights of content available on the KeiO Associated Repository of Academic resources (KOARA) belong to the respective authors, academic societies, or publishers/issuers, and these rights are protected by the Japanese Copyright Act. When quoting the content, please follow the Japanese copyright act.

慶應義塾大学大学院経営管理研究科修士課程

学位論文（ 2016 年度）

論文題名

小売業におけるソフトウェア資産の有効活用に関する研究

主 査	村上 裕太郎
副 査	大藪 毅
副 査	坂下 玄哲
副 査	

氏 名	小野寺 裕貴
-----	--------

論文要旨

所属ゼミ	村上裕太郎研究会	氏名	小野寺 裕貴
(論文題名) 小売業におけるソフトウェア資産の有効活用に関する研究			
(内容の要旨) 日本企業の投資全体に占める IT 投資比率は右肩上がりに成長しており、今後も業務効率化等において IT が重要視されていくことが見込まれる。その中でも特に小売業では IT 活用に関するトピックが多く、実際、最も IT 投資を進めている業界の一つである。競合がひしめき合うなかで、IT、特にソフトウェアを活用して競争力を高めることが今後必要不可欠となってくる。しかし、現状ではソフトウェアへの投資を進めていながらも、有効に活用出来ていない企業や効果を正しく把握出来ていない企業が多い。 元々ソフトウェアを活用する業界ではなかった、現場の業務が日々多忙で導入後のフォローが難しいなど上手く活用されていない要因はいくつも考えられる。そこで、本論文では、実証研究と事例研究を通し、どういった要素が小売業における IT 活用に影響するのかを明らかにし、小売業に少しでも示唆を与えることが目的である。 両手法においても、小売業の組織に着目し研究を進めた。具体的には、経営を担う役員と現場で働く従業員の二項目を中心に分析を実施。実証研究では、重回帰分析を用い、前出の項目がソフトウェア活用に与える影響について検証し、考察を行った。事例研究では、小売企業3社とソフトウェアベンダー1社にインタビューを行い、実際の現場においてどういった要素がソフトウェア活用と関係しているのかを明らかにした。その上で、両研究で得られた結果を照らし合わせ、現在小売業がソフトウェア活用に関して抱える課題を一般化した。 重要な示唆として、役員に IT に強い人材、もしくは IT に関心の強い人材がいる企業は、いない企業に比べソフトウェアを有効に活用出来るということが得られた。実証研究においても、事例研究においても同様の傾向が見られ、今後ソフトウェアを活用していく上で、経営層の IT に対する意識というものが非常に重要になってくるのではないかと考える。しかし、インタビューのなかで、小売企業が IT に強い人材を集めるのは難しいという声が多く聞かれたため、結果を踏まえ IT 人材を獲得していけばソフトウェアを有効活用していけると助言をすることは乱暴であると重々承知している。そのなかで、どのように IT 人材を獲得、ないし、育成していくのかを今後更に検討していかなければならない。			